

## 設備職 課長

### 電機課所属

#### 自分の得意分野を活かしながら、 様々な知識や技術を学べる

##### —企業団の仕事のやりがい、魅力はなんですか

構成団体水道事業者への用水供給は、ダムや河川などの水源管理、日々の需要に応じた水運用、施設の運転管理、高度で広域的な水質管理、財務や広報などの総務系業務がうまく連携して成り立っています。

そのため、担当する業務を進める中で、多くの職員や業務と関わり、自分の得意とする分野を活かしながら、様々な知識や技術を学べることが魅力です。

また、企業団と4構成団体水道事業者は、現在水道施設の再構築を進めていますが、再構築後は、企業団の役割がさらに重要になります。将来の神奈川の水道のあり方を考えながら、仕事ができることも大きな魅力です。

##### —課長をめざす事になったきっかけや理由を教えてください

これまで、企業団内での業務のほかに、色々な経験をさせてもらいました。

一例としては、JICA 専門家研修に参加し、2週間程度、フィリピンとカンボジアに行き、途上国の水道事業の状況を学びました。また、日本水道協会の研修では、ドイツ・

スイスの水道事業者へ一人で調査に行かせてもらい、日本の水道とは異なる浄水処理、施設管理のあり方を学びました。

国内の水道事業者においても、委員会活動や研修を通じた他団体の職員との意見交換や、施設調査により、企業団では常識であったことが、異なるということが分かりました。

そのような経験を踏まえ、企業団の業務のやり方や進め方を変え、少しずつでも改善したいと思ったことが課長を目指したきっかけです。

##### —今はどんな仕事に従事していますか

安全・安心な水を県市民の皆様へ届けるため、施設はいつでも安定的に稼働している必要があります。そのため、設備により異なりますが、一定の周期で設備を更新していく必要があります。

企業団の施設能力（水を作り・送る能力）は、全国的に見ても大規模であるため、ポンプなどの機械設備や配電盤などの電気設備も大型です。私の所属している電機課では、浄水場や取水管理事務所などに設置されている機械や電気設備などの大型設備の更新工事を担当し



## 自身のステイタスを高めるチャレンジを

ています。工事期間中も水の供給を止めることはできないので、既存の設備を運用しながら工事を進めていくことや、安定性、省エネ性などに考慮した設備の選定など、十分な検討が必要です。

今は、課長職なので、職員が作成した検討資料、設計書、図面、工事の状況等を確認することの他、労務管理などのマネジメントの業務が中心です。

### —課長として大切にしていることや意識していることを教えてください

職員は、担当業務に関して自身の考えを持ち、真剣に取り組んでいます。そのため、そうした職員の想いに答える意味でも、回覧されてきた資料は、しっかりチェックすることを心掛けています。また、職員が働きやすい職場になるように、課内の雰囲気づくりも重要だと考えています。電機課では、チーム制で仕事を進め、机の配置なども変えて議論を活性化し、様々な視点で検討することを目指しており、



課内のフリーアドレス化にも取り組む予定です。

さらに、これからは民間企業と企業団（自治体）がうまく連携して、新たな技術や手法を開発し、双方が切磋琢磨して技術力を高めていくことも必要です。そのため、官民連携の取組みにもチャレンジしていきたいと考えています。

### —受験者の方へメッセージをお願いします

企業団は、4 構成団体水道事業者の県市民の皆様への給水を支える非常に重要な役割を担っています。そのような環境の中、企業団は、神奈川の将来の水道を思い描きながら、安定供給を継続させるための適度な緊張感をもって、責任ある仕事ができることです。

企業団の仲間と共に働きながら、自身の得意とする分野を伸ばし、仕事のやりがいが見つけられる職場だと思います。

また、仕事を進めるうえで、業務に関連する資格を有することは、自身のステイタスを高めることにもつながりますので、是非、技術士（上下水道部門）などの資格取得にもチャレンジしてもらいたいと思います。

企業団と一緒に働ける日をお待ちしています！

※内容はインタビュー当時の内容になります。